

<ニコニコ・財団・米山委員会報告>

| | 今回 | | 累計 | |
|------|-----|----------|--------|------------|
| ニコニコ | 32件 | 37,000円 | 1,091件 | 1,192,390円 |
| 財団 | 7件 | 59,200円 | 51件 | 550,200円 |
| 米山 | 11件 | 118,000円 | 57件 | 610,000円 |

<社会奉仕委員会>

箕輪委員長

日頃は社会奉仕委員会に特別にご協力をいただき、ありがとうございます。前回に引き続き、交通安全無事故無違反のコンクールがございました。今回もご協力お願いいたします。



招聘卓話

次年度ガバナー補佐 鈴木憲治様

皆さん、こんにちは。貴重なお時間をいただき、大先輩がいらっしゃる場所での卓話ということで大変恐縮しておりますが、今日は米山奨学事業についてお話ししたいと思います。まず、お手元に「学友浜崎」という号外号をお配りしましたが、これは当地区の米山奨学生のOBが学友会という組織を作っているもので、地区大会でパネル表示をした際、お渡しした号外です。学友OBがやったこととして、ディスカッション等が書いてありますが、これはIMで横浜の4・5グループ、6・7・8グループで「米山奨学事業を考えよう」というタイトルでやっていただきました。大変ご理解いただき、多くの寄付が集まりました。寄付額が多くなりますと、3年後に学生の採用枠が増えます。次年度は私ども麻生RCがIMのホストを初めてやるわけですが、今のところ米山を考えたIMでしようと思っています。昭和音大のオペラホールを

借りまして、900名くらい入りますので、1・2・3グループはこちらでやることで仮予約を終えました。昭和音大の学生によるコンサートを聞きながら、米山についてのIMを開こうというわけです。市長も時間があれば芸術の街のPRとして出たいと言っていました。

こちらのクラブでは林 松国さんが専修大学のドクターコースで勉強しています。あと1年足らずですが、さらに国際交流の輪を広げていただければと思います。寄付の方も地区の目標達成にご協力をお願いいたします。

次に、もう一枚お配りした「米山奨学の事業にご理解を！」という資料をご覧ください。まずロータリーでは4つの奨学事業を実行していることを再確認していただきたいと思います。1番目の国際青少年交換では、1年の予定で高校生の派遣と受け入れをしております。現在は桐光学園に1名、来年はアメリカから高校生が来まして高津クラブが受け入れクラブに決まっています。2番目に国際親善奨学金という制度があります。大学生が中心で主に派遣となります。3番目にはロータリー世界平和フェローシップということで、世界の7大学で70名の学生が勉強しています。紛争解決に関する国際理解について研究するための奨学金です。そして最後が米山奨学金です。私費で正規の留学ビザを持ち、日本で学ぶ外国人留学生に対して、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源として、そのすべてを奨学金にかえて支援する民間最大の奨学財団です。

R米山奨学会とその歩みについてですが、米山梅吉さんが開組で、1952年が起源といわれており、その第1号はアメリカ人だそうです。1957年に全クラブの合同事業として発展し、今年で40周年を迎えます。全国でお世話をした奨学生は109ヶ国、13,903名でした。当地区は623名を支援しました。長い間RIでは奨学事業について理解を示していなかったのですが、この事業は世界理解と平和に貢献しているとのことで、他地区合同奉仕活動としてRIからのお墨付きをいただき大きく発展しております。特徴は世話